

平成22年度 緊急地震速報講演会

緊急地震速報！ そのときどうする？ いま何をする？

緊急地震速報は、地震発生直後に地震の強い揺れが到達することをお知らせすることができる画期的な情報ですが、見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかなため、身の安全を確保するには皆様一人一人の素早い対応が必要です。また、普段からの地震への備えも欠かせません。

地震対策をはじめとした防災対策は、普段の生活の中ではついついおろそかになりがちです。本講演会では、阪神・淡路大震災の被災経験や、これまで実際に緊急地震速報が発表されたときの具体的な行動の分析結果等について話題を提供いたします。大地震の様子や、そのときに人はどう行動するのかについて具体的にイメージしていただくことで、防災を自らの問題としてとらえ、さらに情報の活用方法についても具体的にお考えいただく機会となると思います。是非ともご参加ください。

講師プロフィール

中森 広道(なかもり ひろみち) 日本大学文理学部社会学科教授

広島県出身。専門分野は、災害社会学、災害情報論、社会情報論。平成12年に日本大学文理学部社会学科専任講師、平成15年に日本大学文理学部社会学科助教授、平成20年より現職。

主な著書に『災害情報と社会心理』、『緊急地震速報』、『災害危機管理論入門』がある。

半井 小絵(なからい さえ) 気象キャスター

兵庫県出身。平成13年、日本銀行勤務から気象予報士に転身。平成14年からNHKの関東甲信越地方の気象番組を担当。

平成16年からNHK「ニュース7」の気象キャスターとして気象情報を担当している。テレビで気象キャスターを務めるかたわら、気象や 防災、環境に関する講演活動、小学生向けの環境教育も行っている。平成20年、伊丹市をPRする「伊丹大使」に就任。

著書に『半井小絵のお天気彩時記』、『半井小絵の季節の小箱』がある。

参加方法

入場は無料ですが、事前登録が必要です。気象庁ホームページまたは往復はがきで応募ください。ご応募いただいた方には「事前登録確認通知」を返送しますので、会場受付でご提示ください。会場は自由席です。

■気象庁ホームページからの応募

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp> から、緊急地震速報講演会のページにお進みの上、ご登録ください。

■往復はがきによる応募

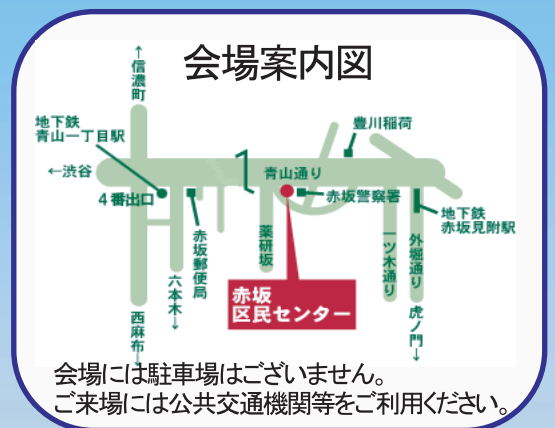
お名前(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス(お持ちの方のみ)を明記して、往復はがきでご応募ください。

宛先: 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁地震火山部管理課「緊急地震速報講演会」係

■応募期間:平成22年10月15日(金)~11月15日(月)

定員に達した場合期日前でも応募を締め切らせていただきます。



会場には駐車場はございません。ご来場には公共交通機関等をご利用ください。

お問い合わせ先

■気象庁地震火山部管理課

電話: 03-3212-8341(代表)

■港区 防災課

電話: 03-3578-2543

■緊急地震速報利用者協議会事務局

電話: 03-3215-6110



緊急地震速報
来る前に知る

緊急地震速報関連機器等展示会(入場無料)

同日11時~17時、上記会場ホワイエにおいて、緊急地震速報利用者協議会・(財)気象業務支援センター共催(気象庁後援)による「緊急地震速報関連機器等展示会」を開催します。この展示会では、緊急地震速報利用者協議会の会員による緊急地震速報提供サービスの紹介、緊急地震速報受信端末の展示・実演及び関連防災機器等の展示が行われます。あわせてご覧ください。事前予約の必要はありません。

緊急地震速報利用者協議会ホームページ <http://www.eewrk.org/>
(財)気象業務支援センターホームページ <http://www.jmbosc.or.jp/>